



# 生後6ヶ月以降の予防注射について

**B型肝炎\*** ①/3、4週間後に②/3、①の6ヶ月後(20週間後以降)に③/3  
2016年3月までに生まれた方は有料です。何歳からでも接種可能です。

**インフルエンザ\*\*** 生後6ヶ月以降、家族みんなで。  
10・11月に2回接種(欧米では2回接種した翌年以降は1回接種)。

**生後6ヶ月から** (標準的接種方法では3歳から)

**日本脳炎\*①/4**、4週間後に②/4、1年後に③/4  
千葉・茨城・静岡・山梨県および西日本は、ブタの日本脳炎抗体保有率が高率です。2015年に千葉で0歳児が日本脳炎を発症しました。  
日本小児科学会では「日本脳炎の流行地域・ブタの抗体保有率が高い地域に居住・滞在する小児は、生後6ヶ月から接種を開始するように」と推奨しています。各自よくお考えになって接種してください。  
3歳以前に接種希望の方は、事前に 港南区役所5階の福祉保健課健康づくり係に、母子手帳を持参し 予診票をもらっておいてください。

## 1歳になったら

**MR (麻しん風しん)\*\*\*\*①/2・ヒブ \*④/4**  
**水ぼうそう \*\*\*\*①/2・肺炎球菌 \*④/4**  
単独の不活化ポリオ(IPV) (4回接種) \* (四種混合を接種した方は不要)

## 1歳6ヶ月ごろ (水ぼうそう①の6(3)~12ヶ月後)

**水ぼうそう\*\*\*\*②/2・四種混合(DPT-IPV)\*④/4**  
**おたふく\*\*\*\*①/2** (おたふくは1歳で接種しても構いません)  
水ぼうそう②は1回目の6(3)~12ヶ月後、四種混合④は3回目の1年~1年6ヶ月後

## 小学校入学の前年度

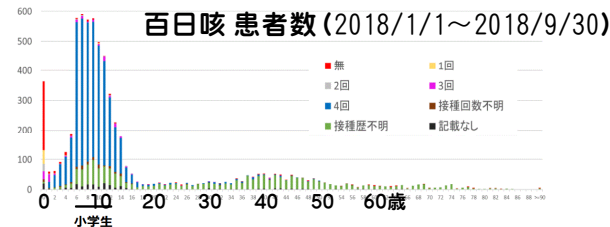
**MR\*\*\*\*②/2・おたふく\*\*\*\*②/2・三種混合(DPT)\*\***

**小学校6年生 二種混合(DT)\*あるいは三種混合(OT)\*\*・日本脳炎\*④/4**  
女兒のみ**HPV\*①②③/3** (WHO方式は①②/2、米国では男児も接種しています)  
HPV (以前、子宮頸がんワクチンと言われていたもの)は、現在 日本では「積極的なお勧めはしない」とされる定期接種です。WHOは9歳に2回接種することをすすめています。

寮や合宿所生活、海外留学する場合などは **髄膜炎菌\*\*①/1**

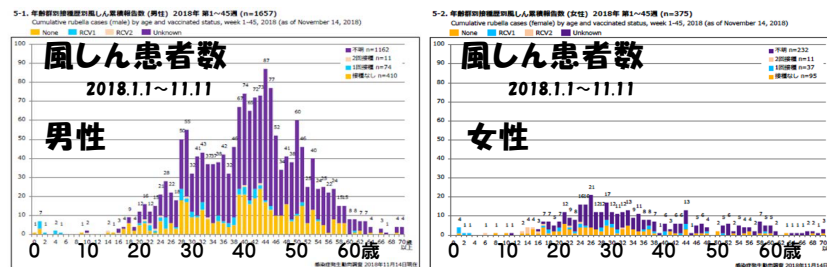
\* : 任意接種=有料  
\*\*\*\* : 他のワクチンを接種できるのは4週間後です。  
\* : 他のワクチンを接種できるのは1週間後です。

## いまどきの百日咳は小学生に多いのです。



予防注射 (四種混合あるいは三種混合) による免疫持続期間は4~12年です。  
**小学校入学前に三種混合(DPT)を接種**することをおすすめします。 当院では 3,800円 (税込) です。

## いまどきの麻しん・風しんは大人に多いのです。



**お父さま・お母さまで麻しんワクチンと風しんワクチンそれぞれ2回の接種が済んでいない方は、MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)の接種をおすすめします**

横浜市の補助 (横浜市風しん対策事業) により **3,300円 (税込)** で接種することができます。

お父さま・お母さまも、子どもさんの診察あるいは予防接種と一緒にあれば、当院でも接種いたします。接種の際には、住所・氏名・年齢を確認できるもの (健康保険証、運転免許証など) をお持ちください。  
**お母さまは、妊娠されている場合は、接種できません。また接種後2ヶ月間は避妊してください。**